

がつ ぎょうじよてい
11月の行事予定

にちようび 日曜日	げつようび 月曜日	かようび 火曜日	すいようび 水曜日	もくようび 木曜日	きんようび 金曜日	とようび 土曜日
		1 ・フォークダンス ・卓球	2 ・ふれあい料理 教室① (当面の間 中止) ・囲碁	3 ・文化の日 ・卓球	4	5 ・囲碁
6	7 ・囲碁 ・周辺地域巡回	8 ・フォークダンス ・卓球	9 ・囲碁	10 ・スマイルジュニア ・パソコン ・ふれあい喫茶 (当面の間 中止)	11 ・各種相談日 ・卓球	12 ・囲碁
13	14 ・囲碁	15 ・フォークダンス ・卓球	16 ・囲碁	17 ・スマイルジュニア ・貯筋体操 ・パソコン	18 ・卓球	19 ・囲碁
20	21 ・囲碁 ・ふれあい料理教室② (当面の間 中止)	22 ・フォークダンス ・卓球	23 ・勤労感謝の日	24 ・貯筋体操 ・パソコン	25 ・卓球	26 ・囲碁
27	28 ・囲碁	29 ・フォークダンス ・卓球	30 ・囲碁 ・スマイルジュニア			

あさひぶんかかいかん
朝日文化会館
か い か ん

あさひぶんかかいかんれんらくさき
朝日文化会館連絡先
じゅうしょ しこくちゅうおうしみしまあさひ ちょうめ ばん ごう
住所：四国中央市三島朝日3丁目5番30号
TEL：0896-28-6070
FAX：0896-28-6104



【朝日文化会館の外観】

【お知らせ】

○ ふれあい喫茶（百円モーニング）新型コロナが終息するまでの間、中止します。

○ ふれあい料理教室①② 新型コロナが終息するまでの間、中止します。

○ 周辺地域巡回事業 11月7日（月）16時～、三島地域

○ 各種相談日 11月11日（金）10時～

人権相談、生活相談、困っていること、何でも話に来てください。



こくさいかんよう
国際寛容デー

かんしゃ き も
感謝の気持ち ～ありがとう～

11月23日は「勤労感謝の日」です。この日は国民の祝日にに関する法律で、「勤労をたとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう。」と定められています。しかし、日々の忙しさ等で日頃の感謝の気持ちや思いやりの心が欠けてしまうこともあります。

私たちの周りには、たくさん的人が働いています。普段何気なく使っている物や、毎日食卓に並んでいる食べ物など、私たちの手に届くまでには、とても多くの人達が携わっています。例えば、商品を生産・製造する人、商品を運搬する人、商品をお店に陳列する人、商品を売る人など・・・。そう考えれば、私たちが生活するために、多くの人たちの勤労に支えられています。

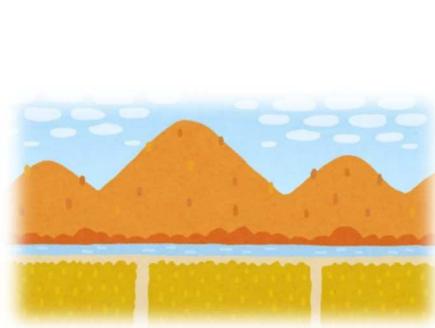
ついつい見逃してしまいがちですが、毎日おいしい食事を作ったり、子育てをしたり、誰かのためのボランティアをすることも、大切な勤労です。

私たちちは支え合い、助け合って生活しています。「勤労感謝の日」は、自分を支えてくれている、すべての人を大切に思い、感謝をするきっかけにしてはどうでしょうか。

ひと おも ひと じぶん ささ だれ ひと かんじゅ き も も
人を思いやり、自分を支えてくれる誰かの勤労に、感謝の気持ちを持つことで
あいて こころ つう ここち にんげんかんけい ひと かんじゅ き も も
相手と心が通じ合い、心地よい人間関係になります。

いつでも、お世話になった人に「ありがとう」と感謝の気持ちを言葉で伝えることで、相手にその気持ちが伝わりお互いに温かい気持ちになります。

かんしゃ こころ も ささ あ たが そんちょう やさ しゃかい
感謝の心を持ち、支え合うことで、お互いを尊重できる優しい社会をつくる
いっぽ ひと ひとり すこ いっぽ こうどう あいて
一歩になります。日頃から一人ひとりの「少しずつ、一歩ずつ」の行動や相手を
きづか おも たいせつ
気遣う思いが、大切です。



11月16日は「国際寛容デー」です。1995年の国際寛容年を受けて、1996年に制定されました。

世界寛容デーは、1995年に採択された「寛容に関する原則の宣言」に基づいており、この宣言では、寛容を「豊かな多様性に富む世界の文化、表現の手段、人間としてのあり方を尊重し、受け入れ、享受すること」と定義しています。

「寛容」とは、心が広くて、よく人の言動を受け入れること、他の罪や欠点などを厳しく責めないことである。この国際デーは、人類にとって最も重要な徳の一つである寛容さに关心を向け、お互いに寛容な心であることが社会にとってどれだけ重要であるかを伝えることを目的としています。

また、文化と人々の相互理解を促進することにより寛容さを高める日です。

不寛容は日々の生活に見られるものであり、他者の感情、権利、尊厳に対する無神経さにより人を傷つけるような行動や態度として表われます。私たち一人ひとりが、毎日の暮らしの中で寛容の精神を推し進めなければなりません。

文化や表現の違いなどで一人ひとり違っていて当たり前のことです。お互いを理解し、多様性を尊重し、受け入れることが大切です。

私たちがともに暮らすためには、それぞれがお互いを知り、受け入れなければなりません。寛容であるためには、まずお互いを理解する気持ちが大切です。そのためには、対話が大切です。



かんりよう
館利用についてのご案内

- みなさまに安全にご利用いただくために、感染防止対策の徹底をお願いします。
- 毎月10日は、ハローワークの巡回相談（職業相談）をしていますが、新型コロナウィルス感染防止の対策として、電話による予約制とします。人権相談、困っていること、何でも相談してください。